

宮崎県小林市立東方小・中学校情報活用能力体系表案（知識及び技能）

分類		小学校低学年	評価	小学校中学年	評価	
知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	① 情報技術に関する技能	● コンピュータの起動や終了、デジタルカメラなどの基本操作を習得している。		● キーボードを使ってローマ字入力で文字を入力することができる。	
			● 電子ファイルの呼び出しや保存方法を習得している。		● 電子ファイルの検索方法を知っている。	
			● 画像編集やペイント系アプリケーションの基本的な操作を習得している。		● 映像編集アプリケーションの基本的な操作方法を習得している。	
					● インターネットを使ってさまざまな情報を見たり、検索したりすることができる。	
					● 情報の種類や特徴について知っている。	
		② 情報と情報技術の特性と理解	● 身近にあるコンピュータの存在を知っている。		● 身近な生活の中で、コンピュータがどのように利用されているか知っている。	
		③ 記号の組み合わせ方の理解	● 問題を解決するための手順を表すことができる。		● 問題を解決するときの手順を図に表すことができる。	
	2 問題解決・探求における情報活用方法の理解	① 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	● 身近なところから情報を収集する方法を習得している。		● 調査や資料を使って必要な情報を集めることができる。	
			● 比較したり順序だてたりして、情報と情報の関係を整理することができる。		● 考えと理由、全体と部分などの情報どうしの関係を把握することができる。	
			● 絵や図を用いて集めた情報を表現することができる。		● 視点を決めて表やグラフを作成し、情報を見やすく整理することができる。	
			● 集めた情報がどんなことを表しているのか、まとめて表現することができる。		● 集めた情報について、全体としてどんなことを意味しているのかまとめることができる。	
			● 自分が集めた情報を組み合わせて表現することができる。		● 自分が集めた情報と他者が集めた情報を組み合わせて表現することができる。	
						● 相手や目的を意識してプレゼンテーションを作成することができる。
		② 情報活用の評価・改善のための理論や方法の理解	● 問題を解決するときさまざまな情報を集めることが重要であることを知っている。		● 目的に応じてどのように情報を活用していけばよいか計画を立てることができる。	
			● 情報の活用の仕方を振り返り、改善することができる。		● 情報活用の仕方を振り返り、改善点を見いだす方法について知っている。	
3 情報モラル・セキュリティなどについての理解	① 情報技術の役割・影響の理解			● 社会の中でどのように情報技術が活用されているか基本的なことを知っている。		
	② 情報モラル・セキュリティの理解	● 人のつくったものを大切にすることや、他社に伝えてはいけない情報があることを知っている。		● 自分の情報や他人の情報の大切さについて知っている。		
		● コンピュータを利用するときの基本的なルールを知っている。		● 生活の中で必要となる基本的な情報セキュリティについて知っている。		
				● 情報の発信や情報をやりとりする場合の責任について基本的なことを知っている。		

宮崎県小林市立東方小・中学校情報活用能力体系表案（知識及び技能）

分類		小学校高学年	評価	中学校	評価
知識及び技能	1 情報技術をに活用するための知識と技能	① 情報技術に関する技能	● キーボードを使ってローマ字入力で文字の正確な入力ができる。	● キーボードを使って、ローマ字入力で、十分な速さで正確な文字を入力することができる。	
			● 電子ファイルをフォルダをつくって整理することができる。	● インターネットを使って、知りたいことをキーワードと使って調べることができる。	
			● 目的に応じて必要なアプリケーションを使うことができる。 ● インターネットを使って必要な情報を検索して見ることができる。	● 電子ファイルの扱い方（圧縮・パスワードによる暗号化、バックアップ等）の知識と技能を習得している。	
		② 情報と情報技術の特性と理解	● 情報を伝えている主なメディアの特徴について知っている。	● さまざまなメディアから情報を利用するときには、作成した人の考えが含まれていることを分かった上で利用している。	
			● 社会の中でコンピュータがどのように活用されているか知っている。	● コンピュータのしくみとコンピュータを動かすプログラムなどについて、基本的なことを知っている。	
			③ 記号の組み合わせ方の理解	● 問題を解決するときの手順を、フローチャートや単純な手順（アルゴリズム）で表すことができる。	● 1つの問題をいくつかの小さな問題に分けたり、問題を解くときに、これまでに学んだ知識や技能を組み合わせたりして解くことができる。
	2 問題解決に活用する情報の理解	① 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	● 調査や実験、観察などを行い情報を集めることができる。	● さまざまなアプリケーションを使うときに、文章中に画像や動画を挿入して、見やすさを考えて表現することができる。	
			● さまざまなメディアから情報を集めることができる。	● 表計算アプリケーションを使って、表やグラフ（目盛りやグラフの種類を選ん）で表を作成することができる。	
			● 原因と結果など、情報と情報の関係を整理して把握することができる。	● 目的に応じて、さまざまなアプリケーションを使って、見やすさを考えたプレゼンテーションを作成することができる。	
			● 目的に応じた適切な表やグラフを用いて表現することができる。	● 情報通信ネットワークなどから効果的に情報を検索し、検証する方法を知っている。	
			● さまざまな情報から、全体の傾向や変化を捉えることができる。	● Web ページや SNS 等を使った発信・交流の方法を知っている。	
			● 複数の表現手段を組み合わせることで表現することができる。	● 問題を解決するために、目的に応じた情報の活用計画を立てる手順の知識と技能を身に付けている。	
3 情報モラル・セキュリティなどについての理解	① 情報技術の役割・影響の理解	● 問題を解決するために、どのような情報をどう活用していけばよいか計画を立てることができる。	● 情報活用や機器の活用の仕方を振り返り、改善点を見いだすことができる。		
		● 情報及び情報活用の仕方を振り返り、改善点を見いだす方法について知っている。	● 情報に関する個人の権利と重要性について知っている。		
		● 聞き手とのやりとりを取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	● 社会におけるさまざまな情報技術の仕組みやはたらきについて知っている。		
	② 情報モラル・セキュリティの理解	● 社会における情報技術のはたらきについて基本的なことを知っている。	● 情報化に伴う産業や国民生活の変化について基本的なことを知っている。	● 情報化における社会への影響と課題について知っている。	
		● 情報に関する自分や他者の権利について知っている。	● 情報に関する基本的なルールやマナーについて知っている。	● 情報を守るための基本的な方法を知っている。	
		● 通信ネットワーク上の基本的なルールやマナーについて知っている。	● 情報技術の悪用に関する危険性について基本的なことを知っている。	● 情報技術の悪用に関する危険性を理解した上で情報を活用することができる。	
		● 発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響について基本的なことを知っている。	● 仮想的な空間の保護や治安維持のためのサイバーセキュリティの重要性を知っている。		
		● 情報メディアの利用による健康への影響について知っている。	● 情報社会における自分の責任や義務について知っている。 ● 自身の健康に配慮して情報メディアを活用することができる。		

宮崎県小林市立東方小・中学校情報活用能力体系表案（思考力、判断力、表現力等）

分類		小学校低学年		小学校中学年		
1 問題解決・探求における情報活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・セキュリティを含む)	思考力、判断力、表現力等	※ 事象を情報とその結びつきの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力	※ 体験や活動から疑問をもち、解決の手順を見通したり分解したりして、どのような手順の組み合わせが必要かを考えて実行する。	※ 収集した情報から課題を見つけ、解決に向けた活動を実現するために、情報活用の見通しを立て実行する。		
			● 情報が表している意味を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめることができる。		● 調査や資料等から情報を収集し、情報どうしのつながりを見つけることができる。	評価
		① 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力	● 相手を意識し、わかりやすく表現することができる。		● 視点を決めて表やグラフを作成することができる。	
		② 新たな意味や価値を創造する力	● 問題を解決するときに、情報の大切さを意識しながら情報を活用することができる。		● 考えるための技法(シンキングツール)を用いて情報を整理することができる。	
		③ 受け手の状況を踏まえて発信する力			● 表現方法を相手に合わせて選択することができる。	
		④ 自らの情報活用を評価・改善する力	● さまざまな情報の取り扱いやICT機器などの活用の仕方を振り返り、できるようになったことに気づくことができる。		● 相手や目的に応じて、自他の情報を組み合わせて適切に表現することができる。	
	等		● 収集した情報から全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見いだすことができる。			
			● 根拠をもって結果を予想することができる。			
				● さまざまな情報の取り扱いやICT機器の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけばよいのかを考えることができる。		

宮崎県小林市立東方小・中学校情報活用能力体系表案（思考力、判断力、表現力等）

分類		小学校高学年		中学校		
思考力、判断力、表現力等	1 問題解決・探求における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・セキュリティを含む）	※ 事象を情報とその結びつきの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力	※ 問題を焦点化し、ゴールを明確にし、シミュレーションや施策等を行いながら問題を解決するための情報活用の計画を立て、調整しながら実行する。	※ 問題の解決に向け、条件を踏まえて情報活用の計画を立てて最適化し、解決に向けた計画を複数立案し、評価・改善しながら実行する。		
					評価	
		① 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力	● 情報を収集するために、目的に応じたメディアを選択することができる。	● 問題に応じて調査や実験などの計画を立てることができる。		
		② 新たな意味や価値を創造する力	● 調査や実験等を行いながら情報を収集することができる。	● 各種メディアの特性を踏まえて、効果的に情報を検索・収集することができる。		
		③ 受け手の状況を踏まえて発信する力	● 目的に応じた表やグラフを選択し、作成することができる。	● 収集した情報を検証し、目的や状況に応じて統計的に整理することができる。		
		④ 自らの情報活用を評価・改善する力	● 考えるための技法（シンキングツール）を適切に選択・活用し、情報を整理することができる。	● 考えるための技法（シンキングツール）を適切に組み合わせ活用し、情報を整理することができる。		
			● 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見いだすことができる。	● 目的に応じて情報の傾向と変化を捉え、複数の解決策を考えることができる。		
			● 見いだした類似性や規則性を用いて、他への転用や応用を意識しながら問題を解決する方法を考えることができる。	● 目的や意図に応じて情報を統合して表現することができる。		
			● 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせる表現することができる。	● 統合した情報をプレゼンテーション、Web ページ、SNS などやプログラミングによって表現したり、発信したり、新たな考えを創造したりすることができる。		
			● 聞き手とやりとりをしながら自分の考えを効果的に表現することができる。	● ささまざまな情報の取り扱いや ICT 機器などの活用を効率化の視点から評価することができる。		
	● ささまざまな情報の取り扱いや ICT 機器などの活用を振り返り、改善点を整理することができる。	● 意図する活動を実現するために、手順の組み合わせをどのように改善していけば寄居とした活動に近づくのかを整理して考えることができる。				

宮崎県小林市立東方小・中学校情報活用能力体系表案（学びに向かう力、人間性等）

分類		小学校低学年	評価	小学校中学年	評価	
学びに向かう力、人間性等	1 問題解決・探究における情報活用の態度	① 多角的に情報を検討しようとする態度	● 事象と関係する情報を見つけようとする。 ● 情報を複数の視点から捉えようとする。	● 情報どうしのつながりを見つけようとする。 ● 新たな視点を取り入れて検討しようとする。		
		② 試行錯誤し、改善しようとする態度	● 問題解決における情報の大切さを意識して行動することができる。 ● 情報の活用を振り返り、できるようになったことを見つけようとする。	● 目的に応じて情報活用の見通しを立てようとする。 ● 情報の活用を振り返り、改善点を見いだそうとする。		
	2 情報モラル・セキュリティなどについての態度	① 責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	● 人のつくったものを大切に、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする。		● 自分の情報や他人の情報の大切さを考え、尊重しようとする。	
			● コンピュータを利用するときの基本的なルールを守り活動しようとする。		● 情報の発信や情報をやりとりする場合にもルールやマナーがあることを考え、守ろうとする。 ● メディアや ICT 機器の利用による健康への影響を考え、行動しようとする。	
		② 情報社会に参画しようとする態度	● さまざまな情報や ICT 機器などを適切に使おうとする。		● ICT 機器を協力して使おうとする。	
					● さまざまな情報の取り扱い方や ICT 機器の活用の仕方について、学んだことを生活に生かそうとする。	

宮崎県小林市立東方小・中学校情報活用能力体系表案（学びに向かう力、人間性等）

分類		小学校高学年	評価	中学校	評価
学びに向かう力、人間性等	1 問題解決・探究における情報活用の態度	① 多角的に情報を検討しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報を整理して、類似性や相違点などをもとに分類しまとめることができる。 ● 複数の視点から情報を検討しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事象を、情報とその結びつきの視点から捉えようとする。 ● 物事を批判的に考察しようとする。 	
		② 試行錯誤し、改善しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の取り扱い方や ICT 機器の活用の仕方を工夫し、新たな考えを創造しようとする。 ● 情報の取り扱い方や ICT 機器などの活用の仕方を振り返り、改善点を見いだそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 条件を踏まえて、情報の活用の計画をたて、最適化しようとする。 ● 情報及び情報技術の活用を、効率化の視点から評価し改善しようとする。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ● 情報に関する自分や他者の権利を考え、尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報に関する他人の権利とその重要性を尊重しようとする。 	
		2 情報モラル・セキュリティなどについての態度	① 責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信ネットワーク上のルールやマナーを考え、尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会は、互いにルールや法律を守ることによって成り立っていることを考え、行動しようとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活の中で必要となる情報セキュリティを考え、行動しようとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティの確保のための対策や対応を考え、行動しようとする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響を考え、行動しようとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ● 仮想的な空間の保護や治安維持のための、サイバーセキュリティの重要性を意識し、行動しようとする。 	
	② 情報社会に参画しようとする態度		<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまなメディアや ICT 機器の利用による健康上の影響を意識して行動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報社会における自分の責任や義務について考え、行動しようとする。 ● 健康の面に配慮した、さまざまなメディアとの関わり方を意識して行動しようとする。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信ネットワークは共用のものであるという意識をもって行動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信ネットワークの公共性を意識して行動しようとする。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ● 情報やさまざまな情報技術をよりよい人生や社会づくりに生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報や情報技術を多様な視点から評価、選択、管理・運用、改良、応用することによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。 	